

日本損害保険協会 - SONPO | 協会のご案内 - 活動内容 - 社会貢献活動 - 環境問題への取組み - 損害保険業界の環境保全に関する行動計画 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り

アドレス http://www.sonpo.or.jp/about/action/shsakaikouken/torikumi/0004.html

地球温暖化対策

近年、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素等の温室効果ガス削減に向けた積極的な取組を行うことが社会的に求められており、紙、電力を大量消費する業界である損害保険業界においても、一層の省資源・省エネ対策に努力し、以下の取組を行う。

- ・紙資源のより一層の利用節減に向けて各社が取組みを推進し、業界として紙使用量を現状以下に抑制するよう努力する。
- ・オフィスの電力、ガス等エネルギー資源について利用節減を図る。

循環型経済社会の構築

損害保険事業のオフィス型産業としての性格から、循環型経済社会の構築のため、以下の取組を行う。

- ・再生紙の利用率の向上を図る。
- ・オフィスから排出される廃棄物の再利用率の向上を図る。
- ・オフィスから排出される廃棄物の最終処分量の削減を図る。
- ・オフィスのOA機器の消耗品のリサイクルを図る。
- ・環境への負荷を軽減し、環境保全に役立つ商品(エコマーク商品等)を積極的に購入する「グリーン購入」の推進を図る。

社内教育・啓発

環境保全に関し、新人研修、附屬別研修等をはじめとする社内教育に一層取り組むほか、社員の環境ボランティア活動への参加等を支援する社内体制の整備に取り組むものとする。

インターネット

日本損害保険協会 - SONPO | 協会のご案内 - 活動内容 - 社会貢献活動 - 環境問題への取組み - 損害保険業界の環境保全に関する行動計画 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り

アドレス http://www.sonpo.or.jp/about/action/shsakaikouken/torikumi/0004.html

環境マネジメントシステムの構築と環境監査

環境への取り組みを、具体的に推進し実効あるものとするために、その有効な手段としてISO等の環境マネジメントシステムの活用を図る。

他の企業や組織等との協働

社会全体に対する環境負荷低減の観点から、他の企業や組織等と協働し、環境負荷低減に関する取組を行う。

環境関連法規等の遵守

国・地方自治体などが定めた環境法令の遵守および損害保険業界全体で参加している団体が制定した環境保全計画、環境保全声明等を遵守する。

損害保険各社は、上記具体的な行動計画に沿って取組みを推進するとともに、これを確かなものとするため、環境問題に関するアンケート調査を実施し、業界全体の実態把握を行う。今後も可能な限り各社独自、または業界全体として具体的な数値目標を設定した上で、より積極的な推進を図ることとする。

[ページの先頭に戻る](#)

Copyright © The General Insurance Association of Japan. All rights reserved. [当サイトについて](#) | [個人情報保護方針](#)

インターネット



No. 07-004

2007年4月19日

**損害保険業界の地球温暖化対策！
2010年度における電力使用量を、
対2000年度比で 18%削減！**

社団法人 日本損害保険協会（会長 石原 邦夫）では、企業の社会的責任を一層果たすため、この度地球温暖化の大きな原因である二酸化炭素削減に関する具体的な目標を次のとおり定めました。

本目標は、日本経団連の自主行動計画に従い、昨年11月に策定した循環型社会形成に向けた廃棄物の削減目標 に引き続いて、本日の理事会にて定めたものです。

1. 数値目標

2010年度(平成22年度)における本社での電力使用量を2000年度(平成12年度)比 **18%減**とする。

2. 数値目標以外の目標

各保険会社の社有車における低排出ガス車の導入を推進していく。

環境問題を取り巻く社会状況をみると、近年、地球温暖化対策問題が大きく取り上げられ、京都議定書も2005年2月に発効したことなどから、日本でも二酸化炭素等の温室効果ガス削減について具体的な数値による削減目標が定められ、官民一体となった取組みが進められるようになりました。

なお、損害保険業界は、これまでも1996年に「損害保険業界の環境保全に関する行動計画」を策定するなど、「地球温暖化対策」「循環型経済社会の構築」「社内外における環境啓発活動」等を積極的に推進しております。

損保業界の目標（2006年11月策定）

- ・東京都内に所在する自社ビルのオフィスから排出される廃棄物を、2000年度を基準として、2010年度には20%以上削減する。
- ・今後業界全体で、最終処分量の数値の把握ができるように努める。
- ・各保険会社において廃棄物処理管理体制を確立する。

《具体的な取組み例》

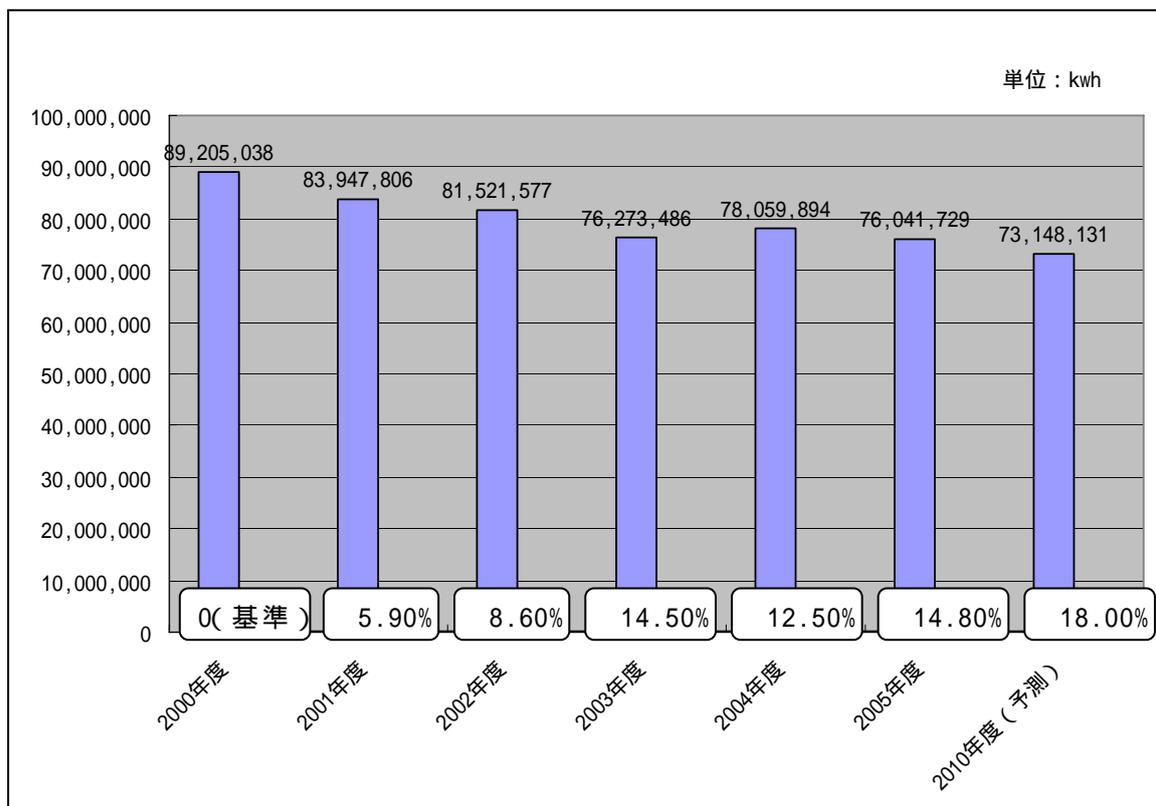
この数値目標を達成するための具体的な取組み例は、次のとおりです。

- ・環境ISOによる環境マネジメントの推進
- ・事務室、会議室等における不要照明のこまめな消灯による電力使用量削減の取組み
- ・事務室内の温度設定による電力使用量削減
- ・クールビズ、ウォームビズの実施
- ・夏季時の早帰り運動の実施
- ・プリンターを複合機へ統合することにより台数を減らし、電力使用量を削減
- ・省エネ設備への改善による電力使用量削減
- ・非常口誘導灯を省エネ型の高輝度型に変更
- ・避難階段の照明を人感センサー型に変更

< 参考 >

電力使用量の推移

損害保険業界は環境問題に積極的に取り組んでおり、2005年度には対2000年度比で14.8%の削減を図っています。



本件に関するお問い合わせ先

生活サービス部 安全安心推進グループ 小塚照夫 今村健二 (TEL 03-3255-1294)
総合企画部 広報室 生駒新一 井瀧芳幸 (TEL 03-3255-1213)

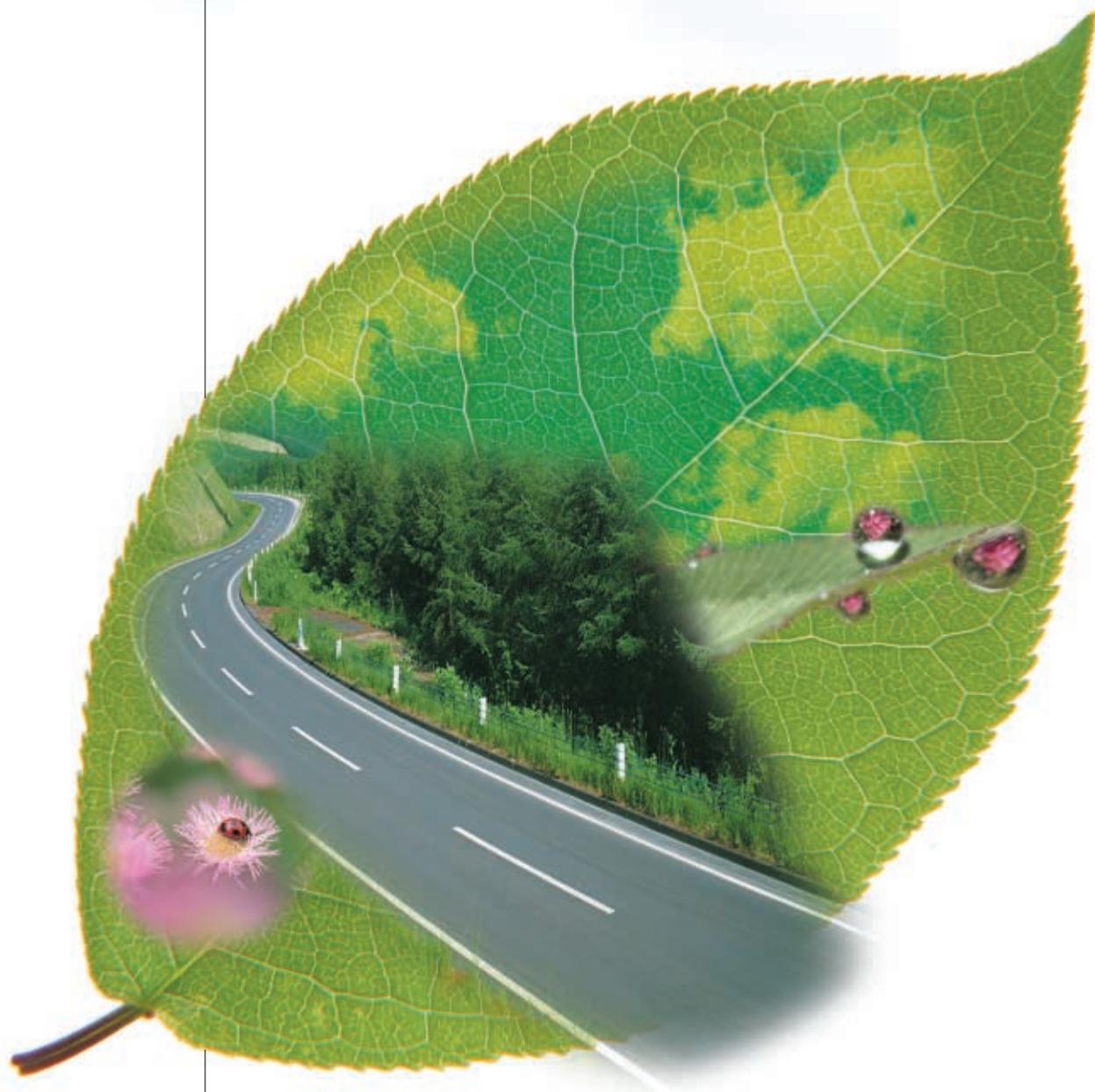
本資料は、日銀記者クラブ・環境問題研究会・都庁記者クラブに同時に配布いたしております。

かけがえのない環境と安全を守るために



日本損害保険協会の
エコ安全ドライブ

エコは安全につながっている





あなたと、地域と、社会を支える損害保険

No. 06-014

2006年6月27日

クルマの修理にリサイクル部品。地球を守る選択です。
- 「リサイクル部品活用キャンペーン」, 「部品補修キャンペーン」を実施 -
3,000円のQUOカードを50名にプレゼント

社団法人 日本損害保険協会（会長 児玉 正之）では、環境保全への取組みの一環として7月・8月の2か月間「リサイクル部品活用キャンペーン」, 「部品補修キャンペーン」を実施します。

本キャンペーンは、当協会ホームページでリサイクル部品の活用などを呼びかけるものです。あわせてQUOカードが50名に当たる懸賞を実施します。

キャンペーンの概要

目的：環境保護の観点から、資源の有効活用・産業廃棄物問題解決の一助となることを目的としています。

内容：**リサイクル部品活用キャンペーン**

事故などにより自動車部品を交換

しなければならない場合に、リサイクル部品を使ってもらうことを自動車ユーザー、整備工場・サービス工場等の方々に呼びかける運動です。

部品補修キャンペーン

樹脂バンパーをはじめとする自動車部品の補修促進を目指すもので、小さなキズやへこみなら部品を交換せずに補修してもらうことを自動車ユーザー、整備工場・サービス工場等の方々に呼びかける運動です。

期間：2006年7月1日（土）～8月31日（木）

抽選で3,000円のQUOカードをプレゼント

当協会ホームページ上（<http://www.sonpo.or.jp>）で、簡単な質問に答えていただいた方の中から抽選で50名に3,000円のQUOカードをプレゼントします。

プレゼントの当選は賞品の発送をもって発表とかえさせていただきます。

締切：2006年8月31日（木）



本件に関するお問い合わせ先

業務運営部企画グループ	村田 嘉宏	(TEL 03-3255-1244)
総合企画部 広報室	柴田 文明 山本 真史	(TEL 03-3255-1213)

本資料は、日銀記者クラブ、国土交通記者会、環境省記者クラブに同時に配布しております。

かけがえのない環境と安全を守るために



No. 06-054

2007年2月28日

第44回損保協会環境講座

地球環境を考える～歴史から学ぶ環境問題～

損保協会副会長(元環境省事務次官)石坂匡身が講演!

社団法人 日本損害保険協会(会長 石原 邦夫)では、地球環境保全活動を業界としての社会的責任として捉え、環境改善活動に取り組んでおります。この環境講座もその一環として、1998年から様々な分野の講師をお迎えし、開催しております。

第44回目(本年度第5回目)の環境講座では、元環境省事務次官で、現在、中央環境審議会委員、また当協会の副会長を勤める石坂匡身(いしざか まさみ)が、昨今の地球環境問題を独自の視点で捉え、行政や民間企業の取組み、また、損保業界の環境問題に関する取組みについて講演をいたします。



どなたでもご参加いただける講座ですので、多くの方々のお申し込みをお待ちしています。

石坂 匡身

1939年生まれ。1963年東京大学法学部卒、大蔵省(現財務省)入省、理財局長、証券取引等監視委員会事務局長、1995年～1996年環境省事務次官、退任後、損保業界では、自動車保険料率算定会副理事長、2004年損保協会副会長就任 現在に至る。

現在、(財)地球環境戦略研究機関参与、China Council 国際委員、(財)海外環境協力センター顧問、神奈川県環境審議会会長、(財)地球人間環境フォーラム評議員、環境省中央環境審議会委員などを勤める。

開催概要

日時：2007年3月28日(水) 18:00～19:30 (17:30開場)

会場：損保会館404・405会議室

住所：東京都千代田区神田淡路町2-9

講師：(社)日本損害保険協会 副会長

石坂 匡身(いしざか まさみ)

参加費：無料(先着80名様)

主催：社団法人 日本損害保険協会

*「会場案内」および「参加申し込み方法」は裏面をご覧ください。